

# 人にやさしい街づくりの推進に関する条例による意見聴取 特記仕様書

## 1 適用範囲

この特記仕様書は、稲沢警察署庁舎建築等設計業務の内「人にやさしい街づくりの推進に関する条例による意見聴取」に適用する。

## 2 業務目的

稲沢警察署庁舎建築等設計にあたり、人にやさしい街づくりの推進に関する条例（以下「条例」という。）の趣旨を踏まえ、高齢者、障害者等を含むすべての県民が円滑に利用できる庁舎となっているか否かを判断する手段の一つとして、高齢者、障害者等の意見を聴くものである。

## 3 業務対象範囲

対象施設は、稲沢市朝府町地内における愛知県稲沢警察署の庁舎及び付属舎であるが、意見聴取の対象とする範囲は、対象施設に至るまでの利用円滑化経路を含むものとする。

## 4 業務内容

### (1) 概要及び期限

ア 意見聴取の方法等に関して適切な助言を行い、ネットワークを活用して意見聴取の対象者（以下「対象者」という。）を選定するなど、意見聴取に関する企画及び運営を行うものとする。

イ 履行期限は、令和8年5月20日とする。

### (2) 準備

ア 対象者の選定にあたっては、条例の趣旨を踏まえて行い、意見聴取会を開催する場合は、会場の規模、設備等についても勘案した上で相応しい人又は団体とすること。

イ 手話通訳、磁気ループ、要約筆記、点字、ひらがな付記、大きな文字等を活用し、対象者に対し、意見聴取の趣旨及び内容が明確に伝わるよう努めること。

ウ 意見聴取の時期、規模、方法等の詳細が決定した場合は、遅延なく発注者に報告すること。

エ 対象者への交通費、意見聴取会の会場使用料、その他の意見聴取を行うために要した費用は、稲沢警察署庁舎建築等設計業務委託料に含むものとする。

### (3) 意見聴取会

ア 意見聴取の方法として意見聴取会を開催する場合は、司会進行を行うこと。

イ 意見が競合する場合により良いアイデアや代替案を示すなど、対象者の合意が得られるよう努めること。

ウ 対象者の意見について、必要に応じて補足説明を行うなど、意見の趣旨が正確に伝わるよう努めること。

エ 意見が出されない場合は、例を示すなど、適切な意見が得られるよう工夫をすること。

オ 対象者から出された意見が意見聴取の目的から外れる内容である場合は、改めて趣旨を説明するなど、適切な意見が得られるよう努めること。

### (4) 意見聴取会以外の方法

意見聴取会以外の方法で意見聴取を行う場合においても、(3)のイからオに掲げる内容に留意するなど、意見を適切に聴取することができるよう努めること。

### (5) 報告書の作成及び提出

意見聴取の結果については、対象者ごとに、意見の内容、採否、採用の場合の優先順位、対応策、採用しない場合の理由その他必要事項を整理して報告書を作成すること。報告書の作成方法の詳細及び提出方法については、発注者との協議の上決定すること。

### (6) 設計への反映

意見聴取の結果を踏まえて設計に反映するが、反映方法の詳細は、発注者との協議の上決定すること。

## 5 その他

この仕様書に定めのない事項については、必要に応じて発注者との協議の上決定すること。